

ビアロプレミアム 施工要領書

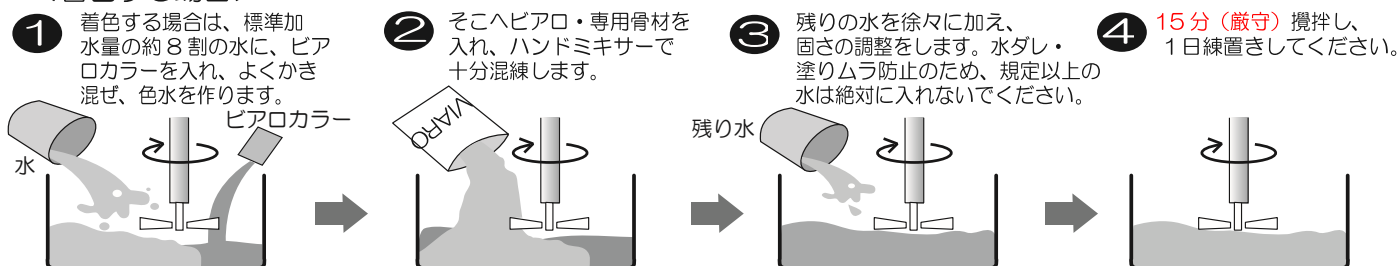
下地

- 最初にビアロ専用下地シートのツルツル面が表で貼られていることを確認してください。また、シートに膨らみやジョイント部分に浮きがある場合は、適切な処理をしてください。
- シート施工後、中 1 日程度経過し糊が完全に乾いている事を確認してください。

練り方

- ビアロ専用下塗材（2 kg/袋）の加水量は **2.8L** です。 } （これ以上の水は絶対に入れてください。塗りムラの原因となります。）
- ビアロ（10kg/袋）の加水量は **8L** です。
- ビアロ専用骨材は、ビアロ 10 kg/袋に対して **2 kg/袋**までとします。
- 加水量の約 8 割の水に、ビアロと専用骨材を入れ、ハンドミキサーで十分混練します。あとは、上記③④と同じです。
- 練樽の容量は **30L~50L** 以上のものご用意ください。（後練の材料を注ぎたす際にも便利です。）
- 練樽が樹脂性の場合、ハンドミキサーのプロペラ部が鋭利なものは使用しないでください。練樽が削られる恐れがありますので、ご注意ください。

<着色する場合>



<着色しない場合> 標準加水量の約 8 割の水に、ビアロ・専用骨材を入れハンドミキサーで十分混練します。あとは、上記③④と同じです。
※着色する場合も、しない場合もビアロ専用下塗材の工程は同様です。

塗り方

- ビアロ専用下塗材は、ウールローラー（中毛）で 1 回塗りとします。 **2 kg/袋で約 40㎡**塗れます。（取り合い部・入隅部は刷毛で塗って下さい。）（目安塗布量 120g/㎡）
【注意】 ビアロ専用下塗材は粘性がありますので、マイクロファイバーローラーは使用しないでください。 後れ毛が発生いたします。
- ビアロプレミアムは、ビアロ専用下塗材が完全に乾いてから、荒目砂骨材ローラーの 1 回塗りで仕上げます。表面の水が引かないうちに、すぐに追っかけて各種道具にて仕上げてください。（目安塗布量 660g/㎡）
- 取り合い部・入隅部は、コーナー専用荒目砂骨材ローラーや刷毛で塗って、追っかけてにて荒目砂骨材ローラーで仕上げてください。*（施工面の取り合い部、入隅部を全て先に塗っていかないと仕上がりが悪くなります。乾くと上から塗った部分が厚くつき、塗りムラのようになりますので、必ず追っかけて施工してください。）
- 枠廻り・チリ・入隅部等は、刷毛を通して仕上げることをお勧めします。
- 仕上げは 1 回塗りが基本ですので、塗りムラがないように、縦横にしっかりと丁寧塗り、最後にはローラーの目を、そろえてください。
- 薄い塗りムラが生じた部分は早く乾いて白くなりますのでその廻りがまだ水持ちしている間に上からもう一度塗ってください。完全に乾いてから塗ると塗り継ぎのようになりますので注意してください。
- 面積が広い天井や吹抜け等の大壁は、表面が乾かない内に複数人で一気に仕上げてください。
- 塗り継ぎはしないでください。

施工上の注意事項

- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床などの養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生してください。強アルカリ性なのでアクが出てシミになる場合があります。
- 白木部などに塗材が付着した場合は、「無水エタノール」で速やかに拭き上げると効果的です。
- 施工時もしくは施工後に、5℃以下になる恐れのある場合は、施工しないでください。
- ④の攪拌時間および練り置き時間が短いと、ダマの原因となり施工性、仕上りにも影響をおよぼしますので、ご注意ください。また、攪拌時間の 15 分はインターバルをとって 5 分を 3 回でも構いません。
※材料は前日に練置きしてください。材料が馴染んで滑らかになり、施工性も良く仕上がりが一層綺麗になります。
- 練置きや残った塗材は、マスキング等で完全密閉しておくこと 4~5 日程度は使用可能です。再使用の際は、5 分程度攪拌してください。
- 練置きや休憩後に施工される場合は、2~3 分程度攪拌してください。
- テクスチャー仕上げの場合は、水が引き表面が少し固くなり始めたら触らないでください。

*施工要領の詳細につきましては、弊社ホームページ（<http://viaro.jp/>）をご覧ください。